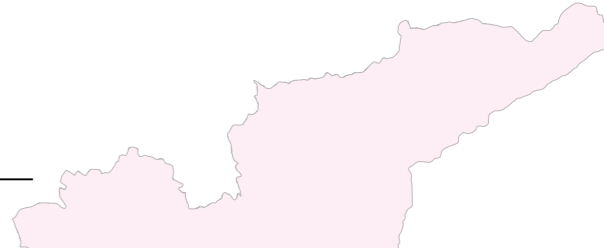


新年のごあいさつ



謹んで新春のお祝いを申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては、お健やかに輝かしい新年の幕開けをお迎えのことと重ねてお祝い申し上げます。

未曾有の被害をもたらした平成28年熊本地震の発生から、今年ではや三年を迎えます。熊本地震の発生以降、全国各地で様々な災害が起きており、改めまして、お亡くなりになられました方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された全ての皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

御船町では、平成29年3月に策定した「御船町震災復興計画」に沿って、創造的復興を目指しており、復興の将来像「みんなが夢を持って住み続けられるまち」の実現とともに、まちの将来像「自然いっぱい夢いっぱい 活気あふれる交流の町 御船」の実現に向け、さまざまな事業を進めています。

現在、御船IC（インターチェンジ）東側への大型商業施設誘致を復興のシンボルと位置づけ、全庁体制で取り組んでいます。

具体的には、IC周辺の地理的優位性を生かして、雇用の創出や税収の増加等、財政健全化につながる経済的波及効果が期待できる企業誘致の推進を図ってまいります。

現在、周辺道路網への影響をはじめ、都市計画や農地の法規制等の課題に対応するため、関係機関と協議を進めているところです。今後も、皆さまのご理解を得ながら、誘致実現に向け、スピード感を持って取り組んでまいります。

そして、平成30年12月には、「御船IC」、「小池高山IC」に続き、本町3つ目となる「上野吉無田IC」が開通しました。

九州を横断する高速道路の開通は、長年、周辺地域の念願でありました。

御船町規模の自治体で、3つもICがある自治体はなかなかありません。この強みを

利用し、今後は観光や物流の拠点として、更に御船町の魅力を発信していきたいと思

います。

平成31年度は、復旧期最後の一年となり、復旧期から復興期への移行に繋げる大事な一年となります。

創造的復興を実現するためには、行政と町民の皆さまが同じ方向を目指し、連携していくことが重要と考えます。これまで以上に、皆さま方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、町民の皆さまにとって実り多き一年になりますことを祈念いたしまして、新春のごあいさつといたします。

平成三十一年 元日



復旧期最後の一年
町民に寄り添い
飛躍の年へ

御船町長
藤木 正幸 行政

新年おめでとうございま

す。町民の皆さまにはご健勝にて、平成31年の新春を迎えられたこと心からお喜び申し上げます。日頃から町議会に対してご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

私は、町議会議長に就任し1年9ヶ月が過ぎましたが、新しい年を迎えその責任の重さを改めて感じるとともに、御船町の更なる発展のために引き続き努力してまいりたいと決意を新たにしております。

さて、平成28年熊本地震及び6月の梅雨前線豪雨災害から早いもので、3年を迎えようとしております。昨年を振り返りますと、日本全国では台風の上陸や大阪北部地震、北海道胆振東部地震が相次いで発生し被害をもたらしました。犠牲となられました方々に哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたしますとともに、被災されました皆さまに対しお見舞い申し上げます。

また、平成29年度に策定した復興の将来像として「みんなが夢を持って住み続けられるまち」の実現に向けて、議会としても住民の生活再建を最優先に、執行部とともに万全の対応と国等へ補助金等の要望をいたしました。平成31年度は、「震災復興計画」の復旧期の4年目になります。

町民の声を広く聞き、中山間地の過疎化や高齢化対策など集落再生にも力を入れていきます。限られた財源で町民の福祉向上を図られるよう、町民の代表機関として監視し又、提案もしていきたいと思

います。私たち議会の現職の議員は、平成31年4月29日に任期満了を迎えますが、この四年間、町民の皆さまの温かいご支援とご協力によりまして、町政に参画できましたことに

対し、議員一同お礼を申し上げます。

組んでいきます。町民の皆さまには、これまで以上に議会傍聴など積極的にご参加いただき、議会に対するご意見やご支援を賜りますよう心からお願ひ申し上げます。

年頭にあたり、この一年が町民の皆さまにとって素晴らしい年でありませうよう心からお祈りを申し上げます。新春のごあいさつとさせていただきます。

平成三十一年 元日



町民とともに歩む
行動する開かれた
みふね町議会

御船町議会議長
田端 幸治 議会